

卒業生との絆ニュースNo.28

3月29日に行なわれましたシンポジウム
「ぼくらの“できる”が、せかいをかえる」のご報告

卒業生の皆様へ

今回は、絆ニュースNo.23で案内しました、古在前学長の退官記念を兼ねて行われました千葉大学地球福祉研究センター主催のシンポジウム「ぼくらの“できる”が、せかいをかえる」の様子を紹介させていただきます。

3月29日、桜の便りが届き始めた春の日差しのまぶしい晴天の日、今回のシンポジウムには、卒業生や地域の皆さん、本学や他大学の在校生、高校生など、200名強の参加者を集めて実施されました。

このシンポジウムは、世界で起こっている環境破壊と貧困の現実、たとえば「毎秒、テニスコート20面分の森林が破壊されている」「3秒に一人、貧困で子供が亡くなっている」という事実を知り、また、その問題に私達の生活が全く無関係ではないということも理解し、それに対し一人一人が、“自分にも何かできる！”という意識を向上させ、主体的にこの問題に取り組む人材を増やすことにありました。

当日は、古在前学長の基調講演に加え、古在前学長と、サッカーの中田英寿や水泳の北島康介のプロモーターとして有名な、サニーサードアップの次原悦子社長とのパネルトーク、2008年環境サミットの前に昨年千葉県で行われましたG20のテーマソングを作曲した、西千葉のアイドルの愛称で親しまれている本学卒業生のシンガーソングライターの松尾貴臣さんのライブなどがあり、3時間半の時間があっという間に過ぎていきました。

最後には、サプライズゲストとして、氏が会場に現れ、大いに盛り上がったことを付け加えさせていただきます。
(氏は誰かは、会場に来られた方のみの特典とさせていただきます)

なお、今回のシンポジウムは企画・運営すべて、学生が主体となって行いました。
素晴らしい学生の活動に会場の皆さんからも大きな拍手が巻き起こり、さすが千葉大生はすごい。

なお、当日の様子は
<http://www.chiba-u.ac.jp/graduate/kizunanews/sympo329-2.pdf>
をご覧ください。

今回のシンポジウムの内容は、昨年、古在前学長と次原悦子氏の共著として出版された『ALL YOU NEED IS GREEN』(講談社)に詳しく書かれています。
久ぶりに感動を覚えた素晴らしい本でした。
是非お読みいただき、感想など寄せていただければと思います。